

LL1100

パラメータ設定ツールユーザズマニュアル

LL1200

カスタム演算作成ツールユーザズマニュアル

変更票



LL1100/LL1200ツールのメディアが、3.5インチフロッピーディスクからCDに変わりました。

梱包内容の確認、セットアップ方法は本変更票をご覧ください。

LL1100/LL1200のユーザズマニュアルは、RS-232Cシリアル通信での使用について記載していますので、USB接続による以下の変更内容については本変更票をご覧ください。

変更内容： ■梱包内容の確認

■動作環境とハードウェア仕様

■セットアップ

USB変換ドライバソフトウェアのインストール
ツールのインストール

■US1000とパソコンの接続

ツールの起動、操作方法などについてはユーザズマニュアルをご覧ください。

LL1100 パラメータ設定ツール IM 5G1A01-01

LL1200 カスタム演算作成ツール IM 5G1A11-01



お問い合わせ
フリーダイヤル: 0120-518182
E-mail: daq_cs@csv.yokogawa.co.jp

IM 05G01A01-01-S01
2006.12 初版 (YK)

横河電機株式会社

■梱包内容の確認

形名・仕様コード

形名	仕様コード	内容
LL1100		パラメータ設定ツール
LL1200		カスタム演算作成ツール
	-U10	IBM PC/AT互換機用(日本語/英語共通), USB接続

梱包内容

- -U10 CD (1枚):
LL ツール本体/USB変換ドライバソフトウェア
専用アダプタ (USB接続用) と専用ケーブル (USB接続用):
パソコンとUS1000前面光通信部接続用 1組
ユーザズマニュアル (LL1100; 1冊, LL1200; 3冊)

■動作環境とハードウェア仕様

パソコン環境

- パソコン: Windows 2000/XP が動作する IBM PC/AT 互換機
- OS: Windows 2000 (Professional)/XP (Home Edition/Professional)
- CPU: Pentium プロセッサ 300MHz 以上を推奨
- 主記憶容量: 128MB 以上を推奨
- ハードディスク:
ツールプログラム格納容量; LL1100 - 5MB, LL1200 - 9MB
パラメータデータ格納容量; 2MB 以上
USBシリアルコンバータ用ドライバ格納容量; 1MB

- CRT: 800×600ピクセル以上
フォント: 小さいフォント
色: 256色以上
- USB通信ポート: 1チャンネル (COM1 ~ 16から選択)
SeriesAコネクタ, USB Specification Rev1.1準拠
- CD-ROMドライブ: インストール時に必要
- プリンタ: 印刷時必要 Windows 2000/XP用 A4サイズ対応

専用アダプタ

- 通信方式: US1000側: 光非接触双方向シリアル通信
パソコン側: USB Specification Rev1.1準拠
- 電源: USBバスパワーより供給 (内部電池はありません)
入力定格 4.4 ~ 5.25V DC, 100mA (専用ケーブル含む)
※外部電源用プラグ, 電源スイッチはありません。
- 周囲温度: 0 ~ 50℃
- 周囲湿度: 20 ~ 90%RH (結露しないこと)
- 輸送・保管条件: -20 ~ 65℃, 10 ~ 90%RH (結露しないこと)
- 防塵防水: 不可
- 規格: CEマーク適合 (EMCのみ)

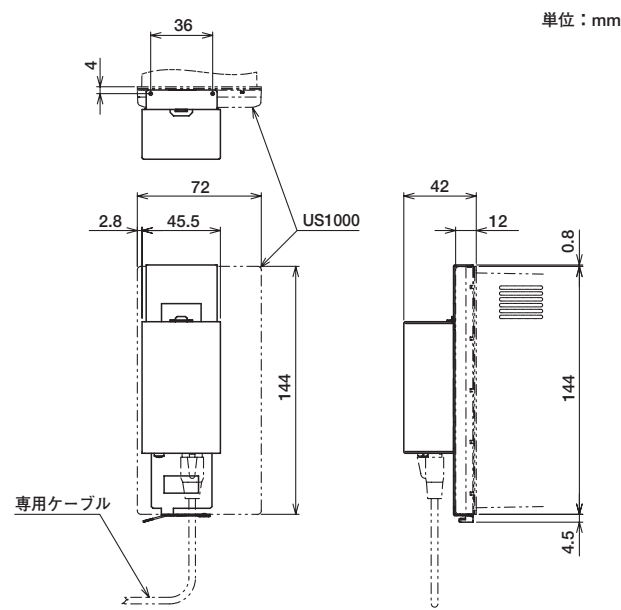


図1 専用アダプタの概観図



警告

専用アダプタおよび専用ケーブルは、防水構造ではありません。水などがかかる恐れがある場所では使用しないでください。

専用ケーブル

USBシリアルコンバータ内蔵
パソコン側: USB SeriesAプラグ
アダプタ側: RJ45 (8pin) プラグ
ケーブル長: 約 2.7m

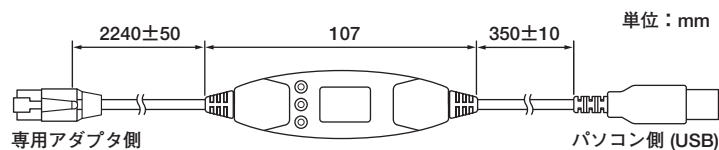


図2 専用ケーブルの概観図

注記: USB接続専用ケーブルは、USB接続専用アダプタ用です。

■セットアップ

USB変換ドライバソフトウェアのインストール



注意

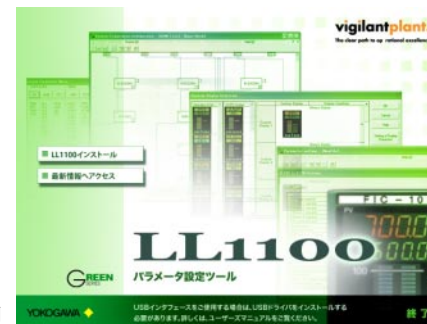
- ・ USB変換ドライバソフトウェアをインストールする前に、現在起動中のアプリケーションを終了させてください。
- ・ Windows 2000/XPのログオンについて
- Administratorsグループに属するユーザ名 (全て半角入力) でログオンしてください。
- ユーザ名を全角でログオンすると、正常にインストールできません。
- Administratorsグループに属さないユーザ名でログオンすると、プログラムが正常に起動しません。

● Windows 2000でのインストール

ここでは、USB対応のLL1100/LL1200ツールをWindows 2000でご使用いただくためのドライバソフトウェアのインストール方法を示します。インストールは2段階で行われます。最初に専用ケーブル用のUSBデバイスドライバがインストールされ、引き続き仮想COMポートドライバがインストールされます。

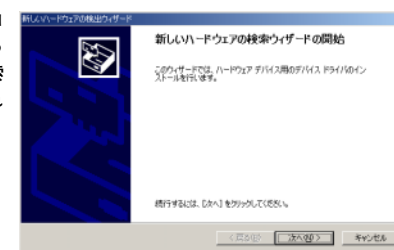
補足: CD-ROMドライブがCドライブであることを前提に手順を記載しています。

1. Windowsを起動します。
2. LL1100ツールまたはLL1200ツールのCDをCD-ROMドライブに挿入します。起動画面が自動的に表示されます。



LL1100の画面例

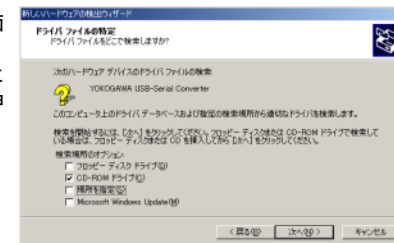
3. 専用ケーブルのコネクタをパソコンのUSB通信ポートに接続すると、「新しいハードウェアの検索ウィザード」が自動的に開始されます。「次へ」を押します。



4. 検索方法選択画面になります。「デバイスに最適なドライバを検索する (推奨)」を選択し、「次へ」を押します。



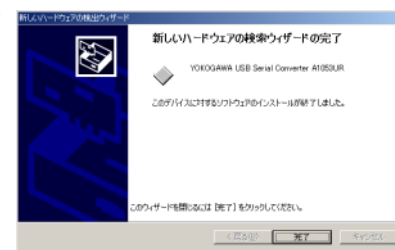
5. ドライバファイルの検索開始画面になります。「CD-ROMドライブ (C)」にチェックを入れて、「次へ」を押します。



6. ドライバファイルの検索が終了したら「次へ」を押します。



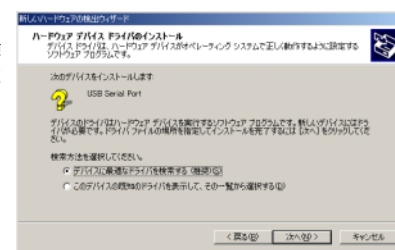
7. 専用ケーブル用のUSBデバイスドライバのコピーが開始され完了メッセージが表示されます。「完了」を押します。



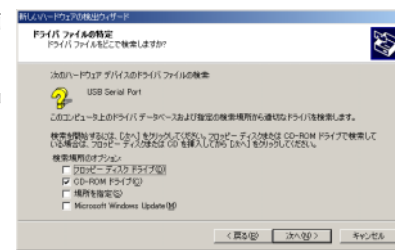
8. 引き続き仮想COMポートドライバのインストールが開始されます。「次へ」を押します。



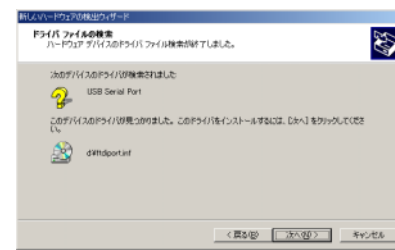
9. 検索方法選択画面になります。「デバイスに最適なドライバを検索する (推奨)」を選択し、「次へ」を押します。



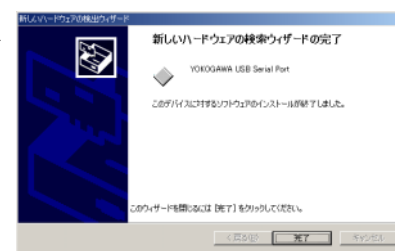
10. ドライバファイルの検索開始画面になります。「CD-ROMドライブ (C)」にチェックを入れて、「次へ」を押します。



11. ドライバファイルの検索が終了したら「次へ」を押します。



12. 仮想COMポートドライバのコピーが開始され完了メッセージが表示されます。「完了」を押します。



以上でWindows 2000でのドライバインストールは完了です。

● WindowsXPでのインストール

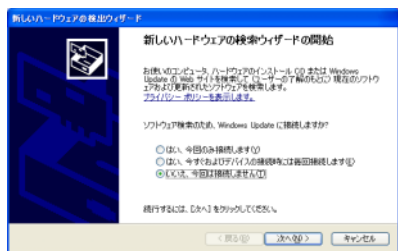
ここでは、USB対応のLL1100/LL1200ツールをWindows XPでご使用いただくためのドライバソフトウェアのインストール方法を示します。インストールは2段階で行われます。最初に専用ケーブル用のUSBデバイスドライバがインストールされ、引き続き仮想COMポートドライバがインストールされます。

1. Windowsを起動します。
2. LL1100ツールまたはLL1200ツールのCDをCD-ROMドライブに挿入します。起動画面が自動的に表示されます。



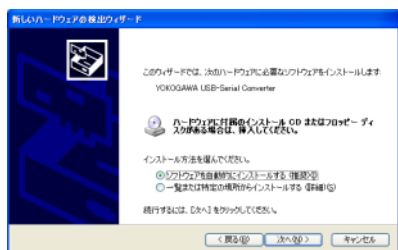
LL1100の画面例

3. 専用ケーブルのコネクタをパソコンのUSB通信ポートに接続すると、「新しいハードウェアの検索ウィザード」が自動的に開始されます。「いいえ・・・」を選択し、「次へ」を押します。右の選択画面はServicePack2がインストールされている場合のみ表示されます。

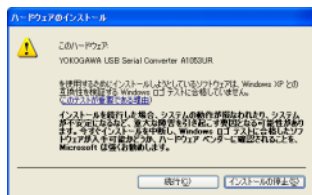


Windows Updateの設定により表示されない場合があります。

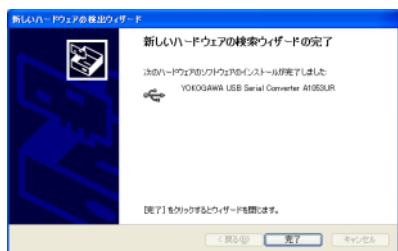
4. 「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)」を選択し「次へ」を押します。



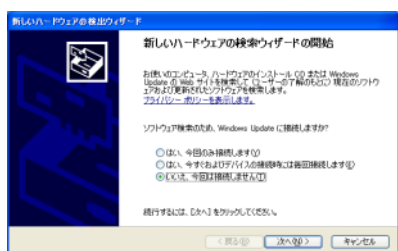
5. Windowsロゴテストに合格していないという警告が表示されますが、ここでは「続行」を押します。



6. 専用ケーブル用のUSBデバイスドライバのコピーが開始され完了メッセージが表示されます。「完了」を押します。



7. 引き続き仮想COMポートドライバのインストールが開始されます。「いいえ」を選択し「次へ」を押します。右の選択画面はServicePack2がインストールされている場合のみ表示されます。

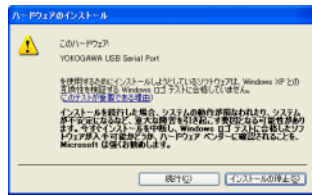


Windows Updateの設定により表示されない場合があります。

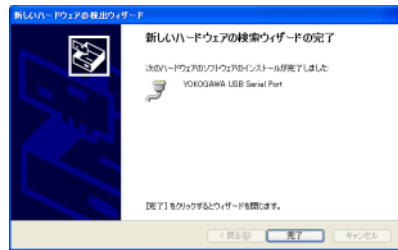
8. 「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)」を選択し「次へ」を押します。



9. Windowsロゴテストに合格していないという警告が表示されますが、ここでは「続行」を押します。



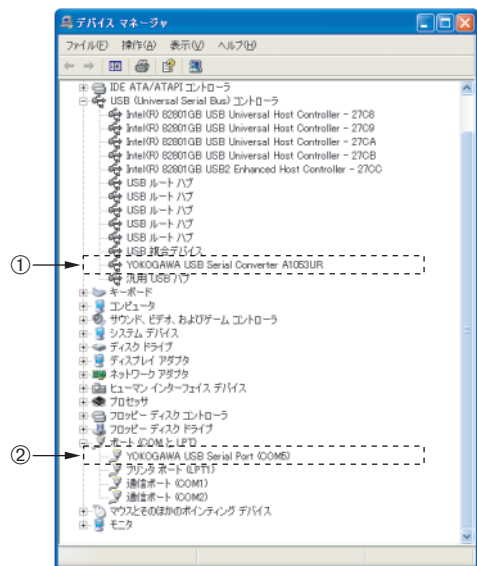
10. 仮想COMポートドライバのコピーが開始され完了メッセージが表示されます。「完了」を押します。



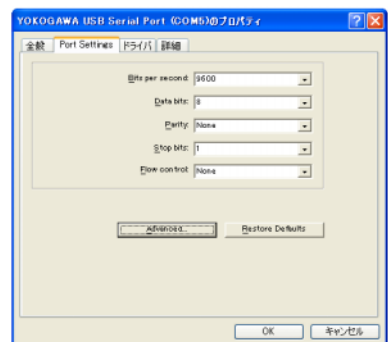
以上でWindowsXPでのドライバインストールは完了です。

● インストールの確認

Windowsの[スタートメニュー]-[コントロールパネル]-[システム]-[ハードウェア]タグの「デバイスマネージャ」を選択します。「USB(Universal Serial Bus)コントローラ」の下にUSBデバイスドライバ「YOKOGAWA USB Serial Converter A1053UR」がインストールされ、「ポート(COMとLPT)」の下に仮想COMポートドライバ「YOKOGAWA USB Serial Port (COMn)」がCOMポートとして追加されていることを確認します。



専用ケーブルに割り当てられたCOMポートの番号の確認は、デバイスマネージャ(上図)の②「YOKOGAWA USB Serial Port (COMn)」に表示されるポート番号で確認することができます。COMポート番号を変更する場合は、②をダブルクリックしプロパティページ画面の「Port Settings」タグを選択し「Advanced...」ボタンを押します。Advanced Settings for COMn画面より変更を行うことができます。

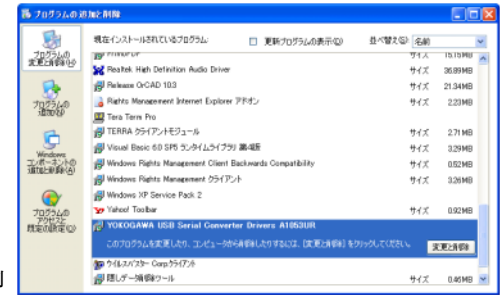


● USB変換ドライバソフトウェアのアンインストール

インストールしたドライバを削除したい場合は、以下の手順でアンインストールを行います。

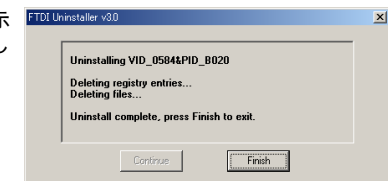
1. 専用ケーブルがパソコンに接続されている場合は取り外します。
2. [コントロールパネル]から[プログラムの追加と削除]を選択します。

注：Windows2000の場合[アプリケーションの追加と削除]、WindowsXPの場合[プログラムの追加と削除]になります。



WindowsXPの例

3. 「YOKOGAWA USB Serial Converter Drivers A1053UR」を選択し、「変更と削除」ボタンを押します。
4. 「If your USB device is connected, ...」の表示に従って、専用ケーブルを取り外されていることを確認後、「Continue」ボタンを押します。
5. 「Uninstalling VID_0584...」の表示に従って、「Finish」ボタンを押します。



ツールのインストール

注意

- ・再インストールする場合は、LL1100/LL1200ツールをアンインストールしてから再インストールしてください。
- ・LL1100/LL1200ツールをインストールする前に、現在起動中のアプリケーションを終了させてください。
- ・Windows 2000/XPのログオンについて
 - Administratorsグループに属するユーザ名(全て半角入力)でログオンしてください。
 - ユーザ名を全角でログオンすると、正常にインストールできません。
 - Administratorsグループに属さないユーザ名でログオンすると、プログラムが正常に起動しません。

1. Windowsを起動します。
2. LL1100ツールまたはLL1200ツールのCDをCD-ROMドライブに挿入します。起動画面が自動的に表示されます。



LL1100の画面例

3. 「LL1100インストール」または「LL1200インストール」ボタンを押します。
4. あとは、ダイアログボックスのメッセージに従って作業を行ってください。

注意

インストールする際に、セットアップ先のディレクトリでは、ルートディレクトリ(D:\など)のみを、指定しないでください。正しくインストールできない場合があります。

● インストールの確認

LL1100: Windowsの[スタートメニュー]-[プログラム(P)]-[LL1100]-[LL1100]が登録されていることを確認します。

LL1200: Windowsの[スタートメニュー]-[プログラム(P)]-[LL1200]-[LL1200]が登録されていることを確認します。

■ US1000とパソコンの接続

US1000と専用アダプタの接続は、以下の手順で取り付けてください。

1. 専用アダプタとパソコンのUSB通信ポートを専用ケーブルで接続します。
2. 専用アダプタを図4のようにUS1000上部(くぼみ部分)にかけます。
3. その後、専用アダプタを押さえつけてUS1000前面に装着させます。

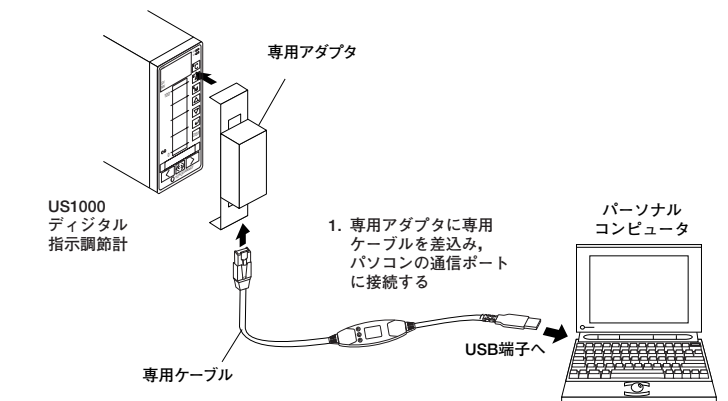


図3 専用アダプタのセットアップ

注意

- ・専用アダプタをUS1000に装着した時、左右にずれていると通信ができません。専用アダプタは垂直に装着してください。
- ・LL1100/LL1200ツールが通信中は、専用ケーブル(USB接続用)を取り外さないでください。OSが動作不安定になる場合があります。
- ・LL1100/LL1200ツールが通信中は、サスペンドを行わないでください。サスペンドから正常に復帰できない場合があります。

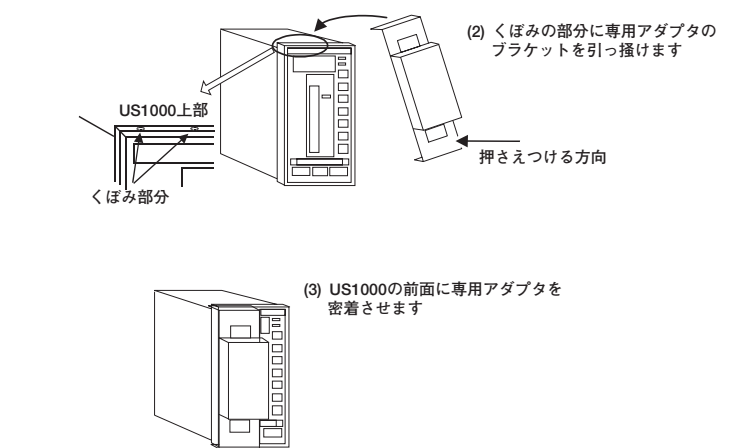


図4 専用アダプタの装着

商標

- * Windows 2000/XPは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。
- * Pentiumは、米国Intel Corporationの登録商標です。
- * Ethernetは、米国XEROX Corporationの登録商標です。
- * その他、会社名および商品名称は、各社の登録商標または商標です。